

[041]九州人類学会報巻頭言

片山, 隆裕

<https://hdl.handle.net/2324/2344785>

出版情報 : 九州人類学会報. 41, 2014-07-09. Kyushu Anthropological Association
バージョン :
権利関係 :

巻 頭 言

「九州人類学研究会」は、九州地域を中心に活動をしている研究者の先生方によって、人類学および近接領域の普及・発展を目的に1972年に発足し、40年以上の歴史を担ってまいりました。現在では、「日本文化人類学会」の九州・沖縄地区研究懇談会も兼ねており、毎年、貴重な研究発表やセミナーが開催されています。私自身は、設立から間もない1980年頃から、大学院生、助手として研究会事務局の仕事に関わらせていただき、その後も含めまして35年の長きにわたり、一会員としてもいろいろと勉強させていただいてまいりましたが、2013年9月より、慶田勝彦前会長の後を引き継ぎ、会長をさせていただいております。

研究会誌として内外に研究情報を発信してまいりました『九州人類学会報』ですが、このたびの第41号から本格的にウェブ版としての運用を開始する運びとなりました。九州人類学研究会では、慶田前会長の下、2012年7月の総会におきまして、『九州人類学会報』を廃刊とし、それに伴う運営体制を変更するという決定をして、現在に至っております。こうした経緯から、昨年の第40号はレビュー1本のみ掲載となっておりますとともに、今後はウェブ版へ移行致しますことを、あらためてご通知申し上げます次第です。

会報廃刊の主たる理由につきましては、第39号をお送り致しました折に、慶田前会長からのお手紙を同封しておりましたので、ご承知の皆様も多いかとは存じますが、編集部への継続的な過度の作業負担、専門雑誌媒体の多様化などによります。これに伴います新たな投稿等に関する規定につきましては現在準備中ですが、現在のところ、従来のような査読付きの論文や研究ノートに掲載する予定はありません。ただし、論文という体裁をとらない、フィールドワークや調査の報告、人類学に関わるさまざまなレビュー・エッセイ（書籍、研究会、映画会、各種イベントなどへのコメント、報告）などに関する投稿に関しましては、これを奨励し、研究会の運営委員が目を通させていただいた上で掲載させていただく運びとなる予定ですので、ご理解のほどお願い申し上げます。

このようにウェブ版の本格運用を開始する運びとなりましたが、九州・沖縄地区における人類学の研究・教育体制のレベルを維持し、さらに活性化させていく場として、九州人類学研究会が重要な責務を担っていることには変わりはありません。会員の皆様におかれましては、引き続き、各方面からご支援・ご助言をいただきますとともに、忌憚のないご意見・ご要望を賜りまして、研究会のますますの発展にご協力いただきますようお願い申し上げます。

九州人類学研究会会長 片山 隆裕